

英国イングランドの中学校規則及び中学校技術教育 実践におけるきまりに関する調査研究

澤本 章*・宮地 信弘**・宮崎 擴道***・魚住 政男****・宮川 昇*****
柄 佳子*****・林川 基治*・岡村 吉永*・森岡 弘*

Code of Conduct in School and Rule of Design and Technology Education in
England, United Kingdom

SAWAMOTO Akira, MIYACHI Nobuhiro, MIYAZAKI Hiromichi, UOZUMI Masao,
MIYAKAWA Noboru, TSUKA Yoshiko, HAYASHIKAWA Motoharu,
OKAMURA Yoshihisa and MORIOKA Hiroshi
(Received January 12, 2007)

キーワード

キーワード：学校、規則、英国、技術科教育、ものづくり、中学校

1. 緒言

近年、日本の小、中学校における「生徒同士のいじめ」、「学級崩壊」、「校内暴力」などの問題が生じていることが報道されている。学校側も大変苦慮しているのが現状であり、日本の将来すら危惧されている^{1), 2)}。

これに加えて、若者の理工系離れ^{1), 3)}、ものづくり離れの傾向が一層進んでおり⁴⁾⁻⁵⁾、製造業に日本人の若手の人材不足も報道されるようになってきた⁶⁾。日本の得意とするものづくり技術の若手後継者が少なくなり、その技術の伝承も危うくなってきている。

ものづくり教育は、日本では、中学校の技術・家庭科で本格的に実施されているが、学校週5日制に移行してからは、中学校技術教育の時間数が大きく削減された。したがって、学校現場の教師からは、十分なものづくり技術教育が行えない状況にあるとの意見が多い⁷⁾。

これに対処するための一方策として、諸外国の教育現場での学校の状況や技術教育を調査することを試みた。そこで、児童のしつけに厳しいとされ、産業革命を起こすとともに、科学技術を推進して、冷静沈着な国民であるされる英国の教育が注目される。

そこで、英国イングランドの中学校の学校規則を調査するとともに、技術教育の授業を参観して、取材を行った。取材中に、学校の技術室に掲げてある標語、技術の実習を行う場合の心得書きなどに注目した。また、日本の中学校の生徒手帳に相当するプランナー

*山口大学教育学部、**三重大学教育学部、***山口大学名誉教授、
****ネットワークウオズミ、*****岩国市麻里布中学校、
***** (元) 山口大学学生

#日本産業技術教育学会第49回全国大会にて一部発表、平成18年8月26日 (高知大学)

(Planner) を入手し、これに記載されていた学校規則・生活指導上の留意事項についても調査した。さらに、現地の英国人技術科教師に技術教育の実施状況について質問し、得られた回答についても報告する。

2. 調査方法

2001年11月～12月に、英国イングランド、ケンブリッジ市の公立中学校2校、私立中学校2校、計4校を学校訪問した。このうち1校のイングランド、チェスタートン・コミュニティー・カレッジ中学校（中等部）（生徒数：100名/1学年）（ケンブリッジ市）において生徒が所持している「Planner（プランナー）」を入手する機会を得た。そこで、記載事項を調査した。また、訪問校の技術室に掲げられていた技術の実習作業を行う場合の心得、注意書き、技術教育の目標、学校の校則などを調査した。なお、英国人技術科教師に技術教育の実施状況について質問し、得られた回答についてもまとめた。

日本の中学校の規則については、生徒手帳については、山口県山口市近郊の公立中学校2校の生徒手帳を参考とし、英国と日本の調査結果を比較検討した。

3. 結果

図1は、英国のロンドンを走行する2階建てバスである（2001年8月撮影）。これは、昔、乗合馬車が屋根の上にも人を乗せて走っていたので、その伝統を守り、これをバスにも2階建てを採用したいきさつがある⁴⁾。図2は、ブラックキャブと呼ばれるタクシーである（2001年8月撮影）。昔からのボデーの形をそのまま受け継いでいる。このようなことから英国は昔からの伝統を引き継ぐ習慣があり、教育においても古いものを大切に、個性を尊重する、伝統を重んじる、何事にも真剣に取り組む、姿勢が背景にあるものと推察された。



図1 英国ロンドンの2階建てバス
(ロンドン、Green Street にて、
2001年8月撮影)



図2 ブラック・キャブ
(伝統的な英国のタクシー、オックスフォード
鉄道駅にて、2001年8月撮影)

3.1 英国中学校の生徒手帳「Planner（プランナー）」にみられる学校のきまり

日本の中学校の生徒手帳に相当する、「Planner（プランナー）」を入手した。「Planner（プランナー）」には、学校のきまりが記載されていた。図3はその表紙を示し、表1は、その表紙を和訳したものである。図3は、英国イングランド、チェスタートンコミュニティーカレッジ中学校（中等部）において生徒が活用している生徒手帳に相当するものである。

Chesterton Community College Planner

Contents

Timetable
 About your Planner
 Home School Agreement
 Code of Conduct
 Rewards, Behaviour, Bullying
 Pupil Information and Travel
 Valuables, Lost Property, Breaks and Food
 Presentation and Homework
 School Dress
 P.E. Kit and Equipment
 Punctuality and Attendance
 Times of the School Day and Term Dates
 Illness, Medicines and Signing Out

Parents and carers are always welcome at the College to discuss any aspect of their child's education. Please be aware that members of staff spend most of the day teaching their classes and it may not be possible to see parents/carers if they arrive without an appointment. Appointments can be made by phoning 01223 712150 or by E-mailing Office@chesterton.cambs-schools.net

図3 英国イングランドのチェスタートン・コミュニティ・カレッジ中学校における生徒手帳 (Planner (プランナー)) の目次・内容

About Your Planner

The planner is more than a homework diary. It is designed to help you to :

Plan your work
 Manage your time
 Record your achievements
 Review your progress
 Set targets for improvement

All this is up to YOU

- Your planner will only be of benefit if you use it and keep all the sections up to date.
- Your planner belongs to the college. Do not put stickers or graffiti on it. If you lose your planner you will have to pay £7 for a replacement.
- Your teachers will help you with some of the details but really it is up to you to include information which is important.
- Remember to record things which you have achieved both in and out of school.
- Your planner will be checked regularly.
- When planning work make sure that you fully understand what you have to do - if not, then ask your teacher.
- The information you write down will be essential to completing your annual Report. If you do not keep this record, or if you lose the planner, then it will be difficult to produce a statement which does you justice.

Your planner is a means of communication between you, your form tutor, your teachers and your parents/carers. Make sure that they see the planner and sign it every week.

You and your parents should sign the Home School Agreement on the next page.

図4 英国イングランドのチェスタートン・コミュニティ・カレッジ中学校における生徒手帳 (Planner (プランナー)) の概要説明

図3及び表1から、プランナーには、時間割、服装等の他に、「学校—生徒—保護者」の間の約束事、行ないの規則 (きまり)、報償、いじめ、時間厳守、出席などについて、詳細な内容についての記述があることがわかる。山口市内の中学校2校 (A校、B校) についても、生徒手帳を調べたが、報償、いじめ、時間厳守についての記載は見られなかった。

表1 英国イングランドのチェスタートン・コミュニティ・カレッジ中学校における生徒手帳 (Planner (プランナー)) の内容

チェスタートン・コミュニティ・カレッジ プランナー

内容

1. 時間割
2. あなたのプランナーについて
3. ホームスクールの約束

4. 行ないの規則
5. 報償、行ない、いじめ
6. 生徒の情報、旅行
7. 貴重品、備品の損失、破損、食物
8. 提出と宿題
9. 学校の制服
10. P.E.Kit 及び設備 (備品)
11. 時間厳守及び出席
12. 登校日の時刻、学期の日
13. 病気、薬、外出の署名をすること

両親及び保護者が児童の教育の様相について相談されることをつねに歓迎いたします。教員は日中の授業のほとんどを彼らのクラスで行っており、予約無しに両親及び保護者にお会いすることはできかねることをご承知おきください。

予約は、以下のところにご連絡ください。

電話 01223-712150 または E-mail Office@chesterton.cambs-schools.net

図4はプランナーについての、説明文であり、表2はそれを和訳したものである。

図4及び表2から、生徒の教育に、このプランナーを生徒の「日誌」以上に重要視して、積極的に活用していることや、熱心な教育が行われていることがうかがわれる。また、保護者との連携、先生からの指導においてこのプランナーが重要であり、生徒みずからを向上させるのに有効であることを強調している。

表2 英国イングランドのチェスタートン・コミュニティー・カレッジ中学校のプランナーの概要説明

・プランナーについて

・プランナーは、家庭の宿題日記以上のものです。これは、あなたを以下のような観点から手助けいたします。

- ・あなたの学習を計画する
- ・あなたの時間を管理する
- ・あなたの学業成績を記録する
- ・あなたの進歩を見直す
- ・改善のための目標を設定する

・これらすべては、あなたを向上させるためのものです。

1. あなたがこれを使い、そして、すべての節(セクション)を最近までつづけるなら、あなたのプランナーは、有益となるでしょう。

2. あなたのプランナーは、学校のもので、プランナーの上に、ステッカー（張り札）をはったり、掻き絵を描いたりしてはいけません。もし、あなたのプランナーを紛失した場合は、あなたは7ポンドを払って、代わりのプランナーを用意しなければなりません。
 3. あなたの先生は細かな所はあなたを援助してくれるでしょう、しかし、事実、このプランナーには、あなたを高めるための重要なお知らせが含まれています。
 4. 学校の内外であなたが成しえたことを記録するのを忘れないでください。
 5. あなたのプランナーは定期的にチェックされます。
 6. あなたは、あなたがしなければならない計画的な課題を十分に理解し、把握しているはずであるが、もし、そうでなかった場合は、その時は、あなたの先生に尋ねてください。
 7. あなたが書いた情報は、あなたの毎回のレポートを完成させるのに必要不可欠です。もし、あなたがこれを保管しない場合や、または、あなたがプランナーを紛失したならば、その時は、あなたがどのようであったかを判断することができにくくなります。
- ・あなたのプランナーは、あなた、先生、ご両親との連絡（コミュニケーション）の手段となります。これらの方々が、プランナーを見られ、毎週サインをするのを確認ください。
- ・あなたとあなたの両親が次のページのホームスクールの約束事にサインすべきです。

表3、図5及び図6は、プランナーに記されていた家庭・学校の約束事を示したものである。表3は和訳を、図5、図6は原文を示す。

表3 家庭・学校の約束事

家庭・学校の約束事			
<ul style="list-style-type: none"> ・チェスタートンカレッジでの（就学における）成功はしっかりした学校、家庭、生徒のパートナーシップに依存しています。 ・成功を遂げるために、私たちが一緒に活動することができる場所がここにはあります。 			
	・学校として、私たちは以下のことに私たちのベストを尽くします。	・生徒として、私は以下のことに私のベストを尽くします。	・両親/保護者として、私たちは以下のことに私たちのベストを尽くします。
・期待	・高い期待を成し遂げこれを維持します。	・学校の高い期待を成し遂げようと努力してこれを認識します。	・高い期待の学校を支援します。
・行ないのきまり	・行ないの最も高い基準を推奨します。 ・問題が生じたならば親に連絡します。	・行ないのきまりと5つの約束にしたがいます。そして、常に、学校のみならず環境について考えます。	・つねに行ないの高い基準を推し、行ないのきまりを支援します。
・学校の服装のきまり	・きまりにしたがった学校の服装かを確認します。	・つねに学校の服装のきまりに従います。	・子どもが学校の服装のきまりに一致しているかを確認します。

・出席/時間厳守	・出席がよいことをほめ時間厳守をします。	・毎日学校に時間どおり出席します。	・出席状況がよいか時間厳守であるか確認します、そして、すべての欠席を学校へ報告します。
・授業の準備	・授業に何が必要とされるか説明します。	・適切な準備品を持参します。	・適切な用具を与えます。
・カリキュラム/学級の仕事	・生徒の学習がうまくいくようにすべての範囲のカリキュラムの機会を与えます。	・注意して授業を聞きま、そして、常に熱心に学習します。	・子どもがベストを尽くすように激励します。
・宿題 / 個人的学習	・宿題の時間割を提供します。学習の計画書を与えます。宿題を設けてその適切な採点をします。	・自分のプランナーにすべての宿題を書きます。すべての宿題を時間どおり完成させて提出します。	・家庭において宿題のための適切な環境を与えます。課された宿題に興味を持ちます。
・生徒の福利/支援	・関係のことについて注意して聞き、速やかに回答します。	・自分に心配事があるならば、先生に連絡します。	・自分の子どもの学習に影響を与えているいかなることも学校へ報告します。
・職業教育/ガイダンス	・職業奉仕をともなった協力の中における効果的な職業指導/ガイダンス	・職業教育と指導において学校の中での機会をうまく活用します。	・職業教育と指導のプログラムにおいて学校を支援します。
・リンク（つながり）と連携伝達	・我々が関係しているならば、成功をお祝いし両親に知らせます。	・もし自分が成功したならばまたは問題があるならば、自分の先生や両親に知らせます。	・もし関係することがある場合は学校に連絡します。
・手紙	・進歩、出席、遅刻について定期的に報告します。	・学校からのすべての手紙、ニュースレター、他の情報は自宅へ持っていきます。	・学校からの手紙やニュースレターを読みます。要求された返事用紙を敏速に返送します。
・両親と一緒に過ごす夕方	・定期的に両親と子どもと一緒にいる夕方を持ってください。	・両親と一緒に夕方、在宅するようにします。	・両親と子どもと一緒にいる夕方を設けるようにします。
・特別の機会	・行事や学習する機会をあなたに知らせることを続けます。	・自分に対して利用できるすべての機会のほとんどを見出しなさい、そしてつくりなさい。	・学校で伴われる行事をご支援ください。
・放課後の留め置き	・あなたにあなたの子どもについての心配事と関係することそして適用される処置についてお知らせします。	・特別の仕事を完遂しなさいそして放課後の留め置きに参加しなさい。	・もし特別の仕事または放課後の留め置きが必要になった場合はご支援ください。

以下にサインください。

校長	生徒	両親/保護者
----	----	--------

図5 プランナーに記されていた家庭・学校の約束事 (その1)

HOME SCHOOL AGREEMENT

Success at Chesterton depends upon a strong school, home, pupil partnership.
These are the areas in which we can all work together to achieve success.

	As a school we will do our best to:	As a student I will do my best to:	As Parent(s)/Carer(s) I/we will do my/our best to:
Expectations	Establish and maintain high expectations	Recognise and try to achieve the high expectations of the school	Support the school in its high expectations
Code of Behaviour	Encourage the highest standards of behaviour. Inform parents if any problems arise	Follow the Code of Conduct and the Five P's at all times with consideration for all members of the Community and our environment	Encourage high standards of behaviour at all times and support the Code of Conduct.
School Dress Code	Ensure that school dress code is worn.	Always follow the school dress code	Ensure that my child conforms to the College Dress Code
Attendance/Punctuality	Encourage and reward good attendance and punctuality	Attend school every day on time	Ensure good attendance and punctuality and inform school of all absences.
Ready for Lessons	Explain what is needed for lessons	Bring the right equipment	Provide the right equipment
Curriculum/Classwork	Provide a full range of curriculum opportunities to enable students to succeed in learning. Set and mark appropriate work regularly.	Listen carefully to instructions and work hard at all times.	Give encouragement to do her/his best
Homework/Personal Study	Provide a homework timetable and study planner. Set and mark appropriate work for homework	Write all homework in my planner, complete and hand all work in on time	Provide an appropriate environment for work at home. Take an interest in work set

図6 プランナーに記されていた家庭・学校の約束事 (その2)

Student Welfare/Support	Listen carefully and respond quickly to any concerns	Let my tutor/teacher know if I have any worries	Let the school know of anything that is likely to affect my child's learning
Careers Education/Guidance	Provide effective careers education/guidance in partnership with the Careers Service	Make good use of the opportunities in school for careers education and guidance	Support the school in its programme of careers education and guidance
Links and Communication	Celebrate successes and let parents know if we have any concerns	Let my Form Tutor and parents know if I achieve success or have any problems	Contact school if there are any concerns
Letters	Report regularly on progress, attendance and punctuality	Take home all letters, newsletters and other information from school	Read letters and newsletters from school Promptly return reply slips as requested
Parents' Evenings	Hold regular parents' evenings	Help make appointments for parents evening	Attend parents' evenings
Extra Opportunities	Keep you informed of events and learning opportunities	Find out about and make the most of all opportunities available to me	Support events that the school is involved in
Detentions	Inform you of any worries or concerns about your child and of any sanctions applied	Complete extra work and attend detentions	Support the school if extra work or detentions become necessary

Please sign below:

PRINCIPAL: B. Jones.	STUDENT:	PARENT/CARER
--------------------------------	-----------------	---------------------

表3、図5及び図6から、学校、生徒、保護者に約束事を設け、生徒の教育に熱心であることが推察される。約束事の内容は、①期待、②行ないのきまり、③学校での服装、④出席/時間厳守(遅刻)、⑤授業の準備、⑥カリキュラム、⑦宿題/個人的学習、⑧生徒の福利/支援、⑨職業教育/職業指導、⑩リンク(つながり)と連携伝達、⑪手紙、⑫両親と一緒に過ごす夕方、⑬特別の機会、⑭放課後の留め置き、に及んでいる。このような細かな記載は、この度調査した日本の山口市内の公立中学校の生徒手帳にはみられなかった。英国イングランドにおける昔からの伝統、子供を養育、教育する強い姿勢が感じられた。

プランナーには、「行ないの決まり」について詳細に書かれている。表4は、プランナーに記された「行ないのきまり」を、和訳したものである。

表4 行ないのきまり

行ないの規則（きまり）

- ①学校のすべての場所（教室、学校の廊下、運動場）において高い水準のきまり（規則）があることが臨まれます。
- ②いつの場合も節度を持ち、よく考えて行動しなさい。
- ③あなたがそうされたいように他の人にも接しなさい。
- ④生徒みんなが学べるように可能な限り努力しなさい。
- ⑤規則を守ること、忍耐強いこと、積極的であること、準備することについて、前向きでありなさい。

これを達成するために、あなたは以下のことを行う必要があります。

- 1) メンバーからの指示を実行しなければならない。
- 2) あなたの毎日の仕事に用意周到でありなさい。
- 3) あなたのすべての本と物を持っているべきであります。
- 4) 夕方より前に時間割を確かめなさい。
- 5) あなたの仕事、財産などを大事にしてください。
- 6) 生徒や訪問者の安全はいずれの場合ももっとも大切です。
- 7) これは、前提として自転車に乗ることを禁止することを意味します。
- 8) ドライブや受付の近くで遊ぶことや集会をすることは避けてください。
- 9) 学校が終わったあとには、校門からは去ってください。
- 10) 喫煙は、前提として許可しません。
- 11) いかなる場合も、たばこ、マッチ、ライターは、学校には持参してはいけません。
- 12) いかなる場合も、チューインガムも許可しません。
- 13) 貴重品、個人のステレオ、ペイガー (pagers)、携帯電話、は学校内に持ち込むべきではありません。
- 14) 生徒は教員の許可無しに学校から出てはなりません。

行ないの規則—環境

- a) 当然のことですが、いつでも学校を尊重してください。
- b) すべての紙くずは物入れに入れてください。
- c) 学校をきれいにしましょう。
- d) 教室を使うことは、とくに気をつけてください。教室を心を込めて扱ってください。あなたの教室を注意して見守ってください。
- e) 指定された場所で屋外で遊んでください。
- f) センターは静粛に使用ください。

これらの行ないのきまりの一部は、日本の中学校の生徒手帳においても、校内生活、校外生活、禁止事項などに記されていた。しかし、1) 節度を持ちよく考えて行動しなさい、2) 可能な限り努力しなさい、3) 自分がそうされたいように他の人に接しなさい、4) 規則を守り忍耐すること、5) 仕事に用意周到であること、6) 学校をきれいにしましょう、7) 教室を心を込めて使ってください、などの諸注意が書かれており、「生徒を教育し、良い方向へ伸ばしていくという強い姿勢が感じられた。

表5には、プランナーに記されていた、「報償、行ない及びいじめ」に関する記載内容である。

表5 「報償、行ない及びいじめ」に関する記載内容

<p>報償、行ない及びいじめ</p> <p>改善、成功、熱心な仕事、出席が良好の場合は、表彰することが大変重要である。</p> <p>色々な方法で表彰は行われます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口頭でほめることや演習ブックに書いてほめること 2. プランナーに記入して表彰すること一両親が知らせたもの、認可証が発行される 3. 正式の認識、一両親が知らせたもの、おそらく賞が与えられる 4. 公式の行事の表彰一両親が招待される <p>行ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし、あなたが学校に遅刻したならば、10分間、放課後の留め置きがある。同じ日に、学級のチューターやその年度の長によって、留め置かれる。 ・時間にして最高45分までの留め置きが行われる、そして、あなたの両親は理由を説明する通知を受ける。 ・あなたは「支持される」、かまたは「レポート」カードをあたえられる。各先生は、授業の後にコメントを記入する、そして、カードは、その年度の長によって確かめられ毎日、自宅へ送付され、両親または保護者のサインを得る。 ・行いがはなはだしく良くない場合は、あなたは授業または学校からある期間、締め出され、あなたの両親や保護者とともに学校へ来て、行ないの規則を受け入れることに同意し、その後、復学することになる。 ・最後の手段としては、生徒は、学校から永久的に締め出され、そして、その理由は、学校長及び LEA へ通知される。 <p>いじめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学校の職員は、いじめは、一人が又はあるグループが、肉体的に情緒的に他の誰かを傷つけるときであると考えています。いかなる形態のいじめも容認できません。もし生徒がいじめを受けているか、もしくは、いじめられている誰かを知っているならば、

生徒は大人に話すべきであります。この知らせは、常に、重要な知らせとして取り上げられます。本学の生徒は、安全で幸せである権利を有しております。

設置されている理念

- ・教員はあなたができるだけ多く学ぶことを確信しています。教育の専門家として、教員は、あなたが何を学んでいるかばかりでなく、どのように学んでいるか、多くの決定をします、それにしたがって、教室を組織換えします。調査してみると、時々、仲の良い集団の活動は、1)友情を阻害することもありますし、2)学習するのに良くない影響をもつ場合もあることがわかります。

- ・先生が教室を管理し、人がどこに座るかだれと座るか、または、一人で座るかを管理することを忘れないてください。

- ・あなたは先生の指導にすぐにしたがってください。

- ・もし先生があなたの学習が被害をこうむると確信された場合は、あなたは、あなたの友だちとともに活動することを当然のことと思うべきではありません。

なお、いじめについては、日本でも2006年（平成18年）、とくに、大きな社会問題となった。英国、米国、韓国、フィンランドなどの外国でもいじめについて、その対策に苦闘していることが新聞でも報道されている⁹⁾。英国では、英国内の700万人の生徒のうち、約2万人がいじめ原因で学校を休んでいる。いじめが原因での最悪に至った事例も18件のぼっていることが報道されている。英国相はいじめる生徒の親が問題解決しない場合に、罰金を科す強行策を検討中である。また、現行の「生徒による助言制度」を拡充する方針であると報告されている⁹⁾。米国では、いじめを行った生徒に出席停止処置を行っている。フィンランドでは、いじめ対策に取り組むリーダー役の生徒を選出し、この生徒がいじめ対策の役割を果たしているとの報道もある。

表6には、飲食、発表と宿題について書かれたものである。

表6 飲食、発表と宿題

・飲食

もし、夏の期間において、屋外で、指示された領域で飲食することの特別の許可が与られないならば、パックされた昼食はファームス・ホールにてのみ食べてよいです。食物は、午前中に食堂で購入してもよいです、そして、食堂には、自動販売機があります。

食堂での食べ物と飲み物はそこで、消費されなければなりません、そして、学校の他の場所に持って行ってはなりません。

●発表と宿題

・発表

課題の発表は常に大切です。不注意な仕事は、良くない印象をあなたの先生に与えます。そして、あなたが言わなければならないところから気持ちをそらされます。もし、あなたの宿題の発表が不注意であり粗雑にみえるようであれば、あなたの総合的な力量

やあなたの態度までも判定されるでしょう。

1. あなたの本にステッカーを貼ったり、掻き字、掻き絵を描くのは許されません。
2. つねに、課題に題名と日付を入れてください。
3. あなたの仕事の草案を作るように努めなさい、そして、内容や構成や正確さについてチェックしなさい。
4. 必要ならば、再度、発表（仕事を）しなさい、そして、きちんと書き上げなさい。
5. 余白をもち、節の第1行目を左側の線より少し引っ込めてレイアウトに注意しなさい。
6. 青か黒のインクを用い、発表の目的に必要な場合にのみ、カラーを使いなさい。
7. スペリング、句読法、文法に対してのすべての宿題の読みの試験。あなたの宿題が正しいか、確認ください、そうでなければ（その他の方法で）、あなたの評点がすべての学科の評点が損害をこうむるでしょう。 あなたにはあなたを助けるいくつかの学科のスペリング表が与えられるでしょう。

宿題

- ・宿題は重要であり必要です。
- ・学校で定期的に課される宿題は付加的な年間の学習と同じです。
- ・プランナーの宿題の時間割は、あなたの仕事や時間を組織するのを助けるでしょう。
- ・あなたが何をしなければならないを確認すること及びいつまでに終わらせないといいな
いかを確認するために毎週の日誌を使いなさい。
- ・あなたが気を散らさない静かな場所で、各々の日の同じ時間にあなたの宿題を行うよ
うに努めなさい。
- ・あなたは1時間、規則的に学習することによって、多くを成し遂げるようになる。
- ・あなたの学習を広げるためにセンターやクラブをとくによく使用しなさい。
- ・宿題を手助けするのは、次の web サイトにあります。
“www.homeworkdone.co.uk”

表7には、器具、時間厳守、出席について書かれている。

表7 器具、時間厳守、出席

器具

すべての生徒は、各授業毎に次の基本的な物品を持参してよいです。

1. 黒または青のペン、鉛筆（スペア、替え用の物品）、鉛筆消しゴム、色鉛筆、30
cm（12インチ）定規、計算機、分度器

時間厳守と出席

時間厳守

- ・時間厳守は、自己訓練（研鑽）において重要です、そしてよい時間管理に必要不可欠です。
- ・常に示された時間よりも遅れることなく教室にいることを確認しなさい。
- ・もしあなたが、午前8:55または午後1:30に遅れて学校へ到着したならば、あなたはレセプションルームにて署名（サイン）しなければならない。そしてメモ用紙1枚をとり、あなたの最初の授業にすぐに持っていきなさい。あなたは遅刻としてマークされ、あなたの記録に残るでしょう。もしあなたが、FORM（形式、儀式）の時間に遅れるならば、あなたの先生によって10分間、普通はその日のうちに、留め置かれるでしょう。もしあなたが、同じ週に再び遅れたならば、あなたは30分間、留め置かれるでしょう。遅刻はあなたのプランナーに記録されるでしょう。

出席

- ・登校日に、あなたがいる正しい場所は学校です。
- ・あなたが学校にいない場合は、あなたにはその理由がないといけません。
- ・あなたの両親は、最初の欠席日の午前9:15分前に学校へ連絡しなければならない、そして欠席のことを記したノートを提出しなければならない。
- ・欠席した最初の日に連絡する電話番号は01223-712648です。
- ・もしあなたの両親によってあなたの欠席が連絡されないならば、学校はあなたの両親/保護者へ最初の欠席の日に電話するでしょう。
- ・学期中に休暇をとる法的な権利はありません、そして両親はそのようなことがないように求められます。
- ・学期中における家族休暇の法的期限は、10日間です、しかし、これは校長の裁量に任せられます。欠席許可を受けるには、その日より前に書類を出さねばなりません。

3.2 技術教育実践におけるきまり

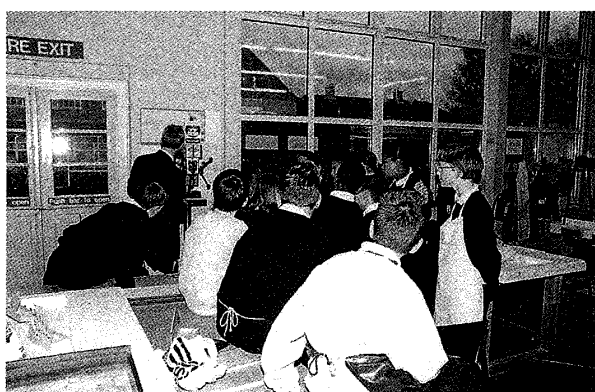


図7 技術(DT, Design and Technology)の授業の状況
(卓上ボール盤の使用法の説明と教師の説明を注意して聞く生徒)



図8 技術(DT)の授業の心得書き

図7は、学校訪問したケンブリッジ市のチェスタートン・コミュニティ・カレッジ (Chesterton Community College) (公立学校) の中等部の技術授業で、教員が卓上ボール

盤の使用法を説明している状況を示す。1クラスの生徒数は約20名であり、日本の場合に比べて少ない人数である。また、図7に見るように、生徒は、教員の話に全員、耳を傾け、授業に専念し、私語をする生徒はいない。図8は、同校の技術室に掲げられていた心得書きである（技術の授業を受ける場合の生徒への喚起の目的のために掲げられている）。技術の授業は英国では、「Design and Technology」（略称 D & T）と称される。図8を和訳すれば、「D & Tで期待されること、1. ベストを尽くそう。 2. 創造的で批判的であろう。 3. 静粛、穏やかにしよう。 4. 安全規則に従おう。 5. 締め切りを守ろう。 6. よい発表をしよう。 7. 無駄を最小限にしよう。 8. 表面（机上）をきれいにしよう。 9. 器具は元に戻そう.」、などの喚起事項が記載されている。

技術（DT）担当の教師への、技術教育実践上の問題に関する聞き取り調査によれば、以下の回答が得られた。

（回答）

1. 数学、理科の教科は頭を使って学ぶ。技術（DT）は体を使ってものづくりをし、各生徒が喜んでいる。ここが、数学、理科とは違います。（チェスタトン・コミュニティーカレッジの技術教師）

2. 技術（DT）の教科は、有用（useful）であると確信しています。（1.に同じ）

3. 予算が少なく設備が乏しいことが問題です。（1.に同じ）

4. 教える内容が多すぎます（much subjects）。時間数が不足しています。（レイズスクールの技術教師）

5. イングランド中では、技術（DT）で教える内容は、ほとんど同じ（same）です。

（パークサイド・コミュニティー・カレッジの技術教師）

6. 学校の成績は重要です。しかし、生徒個人の発達、成長も重要です。芸術や実技教科は、生徒を元気づける働きがあります。（セントメアリースクールの美術の教師）

以上から、英国イングランドの技術教育（DT）担当の教師の技術教育実施にあたり、技術教育の必要性を強く認識され授業を推進されていることが推察される。

4. 結言

英国イングランドの中学校の「学校のきまり」及び「技術教育実践上の規則」を調査した。得られた結果は以下のとおりである。

（1）日本の生徒手帳に相当する英国イングランドの「Planner（プランナー）」の記載によれば、生徒指導、出席、いじめ、遅刻、時間厳守などにかなり配慮した記載がなされており、それに外れた場合には罰則を課することも明記されている。日本の学校の生徒手帳にはこのような記載が見られない。したがって、英国の学校教育では、しつけが厳しいものと判断される。

（2）学校—生徒—保護者に連携した約束事を設け、このような約束事を通して、生徒を教育する強い姿勢が示されている。約束事の内容は、①期待、②行ないのきまり、③学校での服装、④出席/時間厳守（遅刻）、⑤授業の準備、⑥カリキュラム、⑦宿題/個人的学習、⑧生徒の福利/支援、⑨職業教育/職業指導、⑩リンク（つながり）と連携伝達、⑪手紙、⑫両親と一緒に過ごす夕方、⑬特別の機会、⑭放課後の留め置き、に及んでいる。

（3）行ないのきまりでは、1) 節度を持ちよく考えて行動しなさい、2) 可能な限り努力しなさい、3) 自分がそうされたいように他の人に接しなさい、4) 規則を守り忍耐すること、

5) 仕事に用意周到であること、6) 学校をきれいにしましょう、7) 教室を心を込めて使ってください、などの諸注意が書かれており、「生徒を教育し、良い方向へ伸ばしていくという背景が強く感じられる。

(4) 技術教育の規則についても、「①ベストを尽くそう。②創造的で批判的であろう。

③静粛、穏やかにしよう。④安全規則に従おう。⑤締め切りを守ろう。⑥よい発表をしよう。⑦無駄を最小限にしよう。⑧表面(机上)をきれいにしよう。⑨器具は元に戻そう」、などの喚起事項が示されていた。

(5) 英国イングランドの技術教育(DT)担当の教師は、技術教育実施にあたり、技術教育の必要性を強く認識され授業を推進されていた。

謝辞

終わりに、学校訪問先についての情報を提供いただいた、当時、英国にて在外研究中の法政大学 曾村充利教授、早稲田大学 大平章教授、ケンブリッジ日本人会会長 タルタビニ・珠子氏へ深く謝意を表します。

文献

(1) 大谷南海男、「教育の力で日本を変えよう」：文芸社(2002)

(2) 箭内、仁、徳重篤史、須永和宏、富樫道明、「いじめ」(見えない子供の世界)：(慶應通信)(1986) pp.116-121.

(3) 小久保 厚郎、「技術大国日本 風前の灯火」(算数ができない大学生 理系学生も学力崩壊)(東洋経済新聞社)(2001) pp.47-54.

(4) 宮崎擴道、「創始期の手工教育実践史」(風間書房)(2003).

(5) 日本産業技術教育学会編、「技術教育の理解と推進のために」(技術立国!!日本をささえる)、リーフレット(2003)

(6) NHK テレビニュース、おはよう日本：「ものづくり日本 製造業に人材不足」(2006) 3月7日.

(7) 柄 佳子、魚住 政男、宮川 昇、宮崎 擴道、澤本 章、林川 基治、岡村 吉永、森岡 弘、古賀 和利、藤田 武男、「山口県における中学校技術教育の「技術とものづくり」及び「情報とコンピュータ」の実践内容に関する調査研究」：山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第22号(2006) pp.125-134.

(8) 地球の歩き方 イギリス編(1999~2000版)(ダイヤモンド社) p.32

(9) 古沢由子、森千春、中村勇一郎、本間圭、「いじめ対策、世界も苦闘」：読売新聞(2006年12月12日)(6面)